

地域還元型電源開発WG

2026年2月17日

WG事務局:株式会社エコロミ

地域還元型電源開発WGの活動について(1/2)

WG承認年月	2024年12月
参加団体・個人	<p>※敬称略、50音順(2026年1月現在11団体、個人1名)</p> <ul style="list-style-type: none">● 日本環境防災株式会社● 公益財団法人日本環境協会● 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング● JR東日本エネルギー開発株式会社● 株式会社奥村組● 弁理士法人 正林国際特許商標事務所● 日本農業気象学会● 個人(所属は沖電気工業株式会社)● UNIVERGY株式会社● 株式会社大和田測量設計● 大成建設株式会社東北支店● 株式会社エコロミ(事務局)
活動経緯(概要)	<ul style="list-style-type: none">● 2025年8月、第一回WGを実施。● 2025年10月、第二回WGを開催。● 第1回、第2回WG活動を通じて、WG案「スマート&コンパクトシティ×まちづくり」を作成。

地域還元型電源開発WGの活動について(2/2)

活動結果

【総括】

- WG活動を通じて、「スマート&コンパクトシティ×まちづくり」案を作成し、複数の自治体へ提案、意見交換ヒアリングを実施した。

【課題】

- 各自治体、各地域の課題や考えを十分に把握することができず、やや一方的な提案になってしまった。

【対応策(案)】

- 机上調査を行い、課題を整理したうえでWG案の精査を行う。

今後の予定

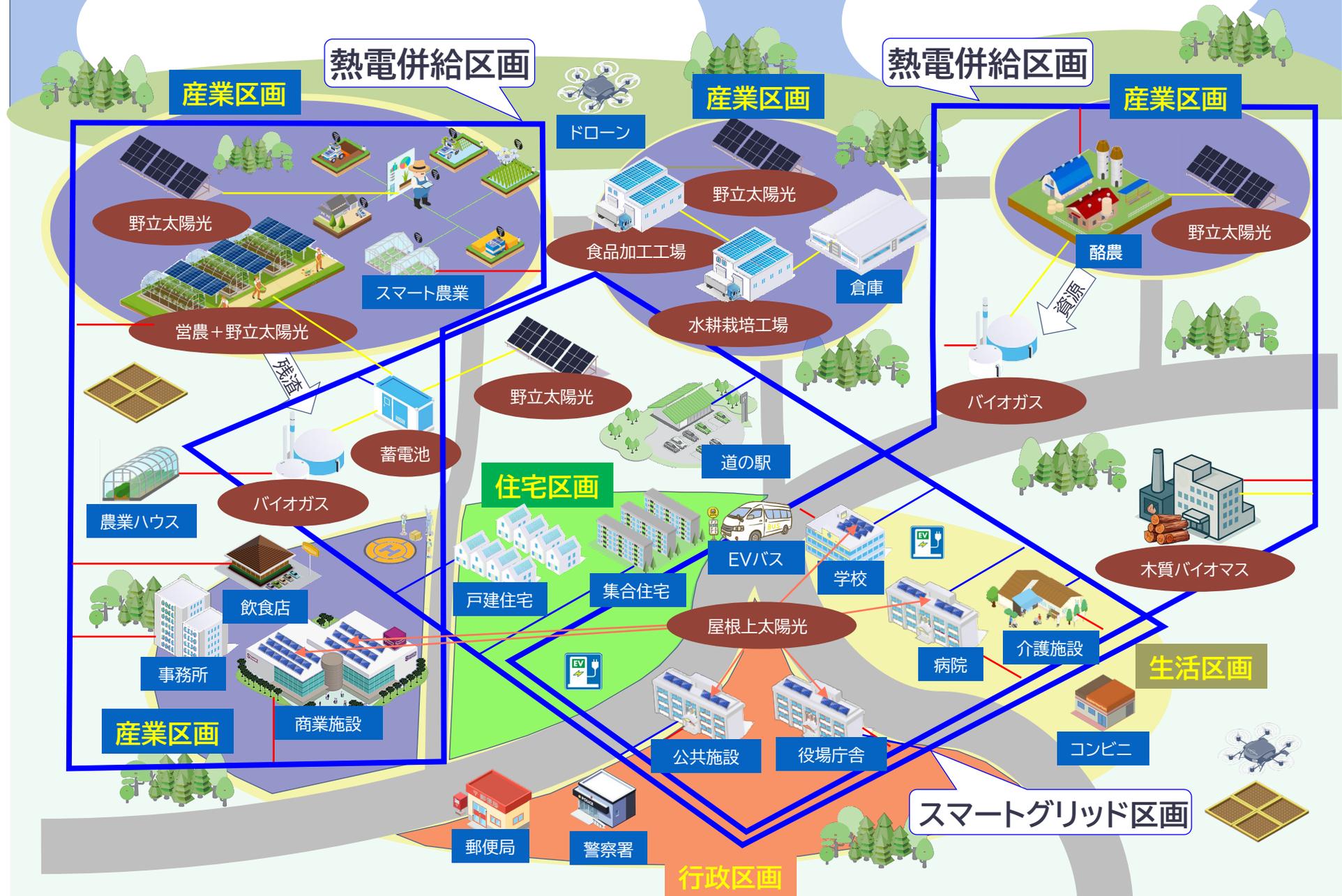
【次年度(2026年度)の目標・方向性・将来像】

- 目標・方向性:机上調査を及び自治体の現状把握、関係構築を進め、「スマート&コンパクトシティ×まちづくり」案についての事業計画作成。

【2030年度の目標・方向性・将来像】

- 目標・方向性:施設間融通等を活用した電力事業の検討と連携した「スマート&コンパクトシティ×まちづくり」に向けた詳細検討及び設備導入。
- 将来像:持続可能な地域モデルおよび災害復興時のモデルケースとして他地域へも展開可能な事業を目指す。

スマート&コンパクトシティ×まちづくりイメージ



「スマート&コンパクトシティ×まちづくり」に向けての事業案

立地適正化計画

① **歩いて暮らせるまちなかの形成**、②地域を支える地域拠点(小さな拠点)の形成、③自然災害に強い居住環境づくり
 第6章 誘導施策 ◆ **居住誘導区域**における講ずべき施策 ◆ **都市機能誘導区域への施設に立地**を誘導するために講ずべき施策

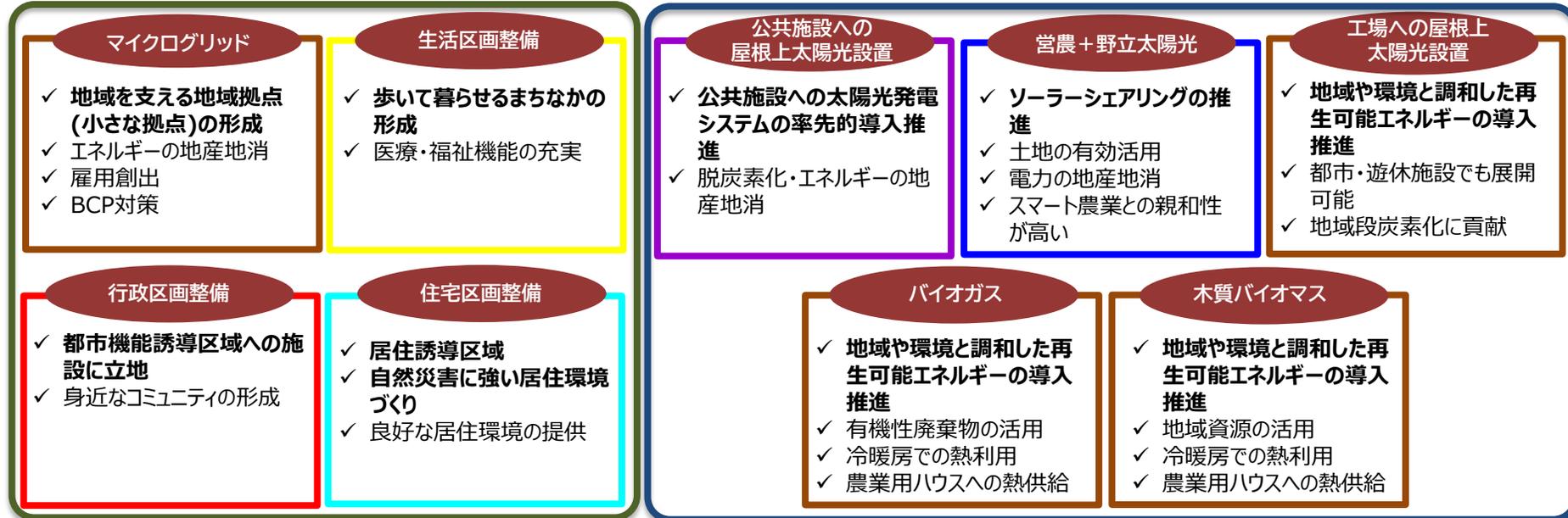
地球温暖化対策実行計画【区域施策編・事務事業編】

基本目標 1 再生可能エネルギーの導入・利用促進

施策① 太陽光発電等の普及促進 ● **公共施設への太陽光発電システムの率先的導入推進** ● **ソーラーシェアリングの推進**
 施策② 再生可能エネルギー導入の推進 ● **地域や環境と調和した再生可能エネルギーの導入推進**

課題解決のための施策・誘導方針(ストーリー)

再生可能エネルギーの導入・利用促進



特定区画を集約化したまちづくり

コンパクトシティ

災害復興時のモデルケースとしても活用可能

スマートシティ

- 行政サービスの集約化・効率化
- インフラの維持コスト削減
- 地域コミュニティの維持
- 地域内経済循環
- 多職種連携
- 整備の短縮
- 先進的技術の導入
- 利便性向上
- BCP対策
- 環境負荷の軽減
- エネルギーの効率化

【地域還元型電源開発WG】

参加団体等による
製品・サービス提案一覧

提案一覧

※企業名50音順

企業名	所在地		詳細
UNIVERGY株式会社	東京都港区	福島復興まちづくりに向けて脱炭素化ソリューションにより、地域に貢献していきます。 貢献局面:①製品②炭素吸収 貢献内容:①再エネ②省エネ③地域貢献④環境啓発	P7

【UNIVERGY株式会社】福島復興まちづくりに向けて

- ◆電力コスト削減と再エネ電力の普及拡大による脱炭素化支援
- ◆CO2排出量の削減に向けた可視化ソリューションの導入支援
- ◆地域マイクログリッド事業に関する電源開発
- ◆ソーラーカーポートPPAによる再エネの導入支援
- ◆避難所機能の強化に向けたBCP対策支援